現代アメリカ経済と新自由主義
——トランプ政権の歴史的性格——
ポスト冷戦研究会報告要旨
日時：2017年5月20日（土）13時30分～17時30分
場所：明治大学研究棟4階第2会議室
報告者：萩原伸次郎（横浜国立大学名誉教授）

はじめに

I　なぜ、ドナルド・トランプは、大統領になれたのか
　　——トランプ政権誕生の歴史的前提——
1　世界経済危機とオバマ政権の経済政策
　巨大金融機関の救済を優先したオバマ政権
　ローズヴェルト政権は、金融危機にどのように対処したか
　オバマ政権の金融制度改革
2　オバマ政権の経済政策と「財政の崖」
　「ティー・パーティー運動」の出現とオバマ政権の苦難
　「財政の崖」はなぜ起こったのか？
　　——富裕層増税の税制改革と共和党の危険な瀬戸際作戦——
3　オバマ政権による「中間層重視の経済政策」の提起
　「中間層重視の経済学」とはなにか
　　——2014年大統領経済諮問員会報告の画期的意義——
　不平等の拡大をいかに是正するか
　　——最低賃金の大幅アップと労働組合運動の活発化の必要——
4　オバマ政権の対外政策

II　トランプ政権の政治経済政策
1　トランプ政権誕生とアメリカ国民
　「扇動家」ドナルド・トランプが勝利した理由
　トランプ政権最初の100日間の選挙公約
　トランプ政権の排外主義
　トランプ政権とオバマケア廃止・見直し
2　トランプ政権の政治経済政策の特徴
　レーガン大統領を信奉する軍事大増強路線
　大減税政策・金融規制緩和は実現できるのか
　環境規制の撤廃
3　トランプ政権の対外政策
　TPP離脱と2国間交渉
　対日関係はどう進むか

Ⅲ　アメリカ経済の現局面

1　2016年のアメリカ経済

回復と再投資の8年

オバマ政権の危機への対応

アメリカ経済が直面する4つの課題

A　生産性成長　B　所得不平等　C　労働参加　D　経済的持続性

2　アメリカ経済の格差はなぜ深刻なのか

経済的不平等の形態――所得、資産、機会

A　所得不平等　B　資産不平等　C　機会の不平等

不平等の諸原因――競争市場と経済的レント

A　競争による不平等の説明

スキル偏向型変化

教育的達成

グローバリゼーション

B　レントによる不平等の説明

賃金交渉におけるレントの分配

――衰退する組合の組織化と最低賃金

法人企業の利潤と利子率

不平等の拡大は、経済成長にいかなる影響を与えるか

包括的成長を促進し、不当なレントの発生を阻止する政策

A　総需要の強化政策　B　機会均等の促進　C　市場支配力の除去によるレントを求める行動の削減　D　不平等の結果に対して家族を守る

まとめにかえて

―――トランプ政権の経済政策をどう見るか――

参考文献

拙著『新自由主義と金融覇権』大月書店、2016年

拙稿「オバマ政権8年の経済政策をどうみるか」『政経研究』第107号、政治経済研究所、2016年12月

拙稿「オバマ政権8年の経済政策を振り返る」『米国経済白書2016』蒼天社出版、2017年2月

拙稿「トランプ政権の政策はなぜ失敗するのか」『前衛』2017年6月号

萩原伸次郎監修『米国経済白書2016』蒼天社出版、2017年2月

Economic Report of the President, January 2017,Together with the Annual Report of the Council of Economic Advisers.